

「楽しかった」を伝えよう!

アートサポーター養成セミナー



「こ・ふあん」では、障害のある方が芸術文化に触れる機会をさらに増やしていきたいと考えています。そこで、障害者支援施設に勤務している人などを対象に、芸術文化活動の重要性を知ってもらうための取り組みをしています。支援者と障害のある方が、共に芸術文化活動にどのように関われば良いのか、環境や仕組み作り、導入方法などを学び、身体・音楽表現などを体験する「アートサポーター養成セミナー」を開催しました。



布を使って好きな言葉や、自分の名前など、思いのままに全身で表現してみましょう!

まずは支援する側が「自由な表現」の楽しさを知ることが第一歩♪

ペアになって相手の動きを真似してみたり…

「お題」を決めて全身で表現してみたり…

みんなで「おでん」を表現しています! 私は揺れる昆布になりました!



一緒に踊ってみませんか?



TACTの皆さん

講師インタビュー



NPO法人 Ballet Noah
TACT
ファシリテーター 藤井 咲恵さん

私たちは、誰もが持っているアートの心^{からだ}を身体を使って表現する「パフォーミングアーツ団体」です。身体表現には訓練が必要と思われるかもしれませんが、特に必要ありません。自分の身体を生かして、自分の動きたいように動くことがとても大切だと思っています。絵画などの美術分野の芸術とは、違う切り口の表現方法として楽しんでもらえればうれしいです。

セミナーに参加してみて…



社会福祉法人 光の里
エルビスあけぼの
こばやし まさひろ
小林 政英さん

参加する前は、施設の利用者に具体的な助言をしながら作品を作っていました。今回、身体表現を体験し、自分で自由に表現する楽しさや開放感、心の充足感を感じました。これからは施設の利用者の自由な表現を尊重して、芸術文化活動を一緒に楽しみたいと思います。



特別支援学校での芸術文化活動を紹介します

県内各地の特別支援学校でも、児童生徒たちが授業の中で芸術文化活動に携わり、展示や発表の機会を設け、地域社会に参加できるよう、さまざまな取り組みをしています。

授業での芸術文化活動



▲「ぞうのエルマー」の色塗りをしています(県立渡良瀬特別支援学校小学部)



▲県障害者芸術文化活動支援センター開設記念シンポジウムでの和太鼓演奏(県立渡良瀬特別支援学校高等部)

発表はとても緊張する!けれど…

僕が芸術文化活動の中で特に好きなのは、和太鼓の授業です。たくさんのお客さんが来てくれる発表会は緊張するけれど、太鼓の音がそろった時は楽しいし、みんなで心を1つにしてお客さんの心に残るような演奏ができた時は、やりがいを感じます。



県立渡良瀬特別支援学校
こぐれ けんた
高等部3年 小暮 健斗さん

ハートフルアート展

県内各地の特別支援学校で学ぶ児童生徒たちの絵画や工作、立体作品などが展示される「ハートフルアート展」を5年12月に5日間にわたって開催しました。児童生徒たちの豊かな感性を生かした作品の一部を紹介します。



◎ 題名「大きなケーキ」
群馬大学共同教育学部附属特別支援学校 小学部の皆さんの作品
素材の違ういろいろな紙を使って果物やクリームを作り、模造紙に貼って大きなケーキを表現しました



◎ 題名「空中水族館をつくろう」
県立太田高等特別支援学校 3学年の皆さんの作品
好きな海の生き物を、新聞紙やさまざまな色のテープを使って再現しました

「こ・ふあん」へ寄せる想い



県立富岡特別支援学校
やの まさと
校長 矢野 勉さん

本校では図工や美術、音楽の授業で絵画や造形活動、楽器演奏をするなど、幅広く芸術文化に触れています。これらの授業では児童生徒たちが意欲的に取り組み、活動を楽しんでいます。

児童生徒たちが本校を卒業した後も、アートに携われる身近な場所や、障害の有無にかかわらず芸術文化の素晴らしさを語り合えるような発表の機会があってほしいと願っています。

それを実現するための「こ・ふあん」の活動には、大きな期待を寄せています。

問い合わせ先

「こ・ふあん」について…県庁障害政策課 ☎027-226-2634
特別支援学校について…県庁特別支援教育課 ☎027-226-4656